

会計情報やデータサイエンスによる企業の経営管理・経営分析

准教授 王志

1. 研究内容

本演習は、グローバルに通用する人材の育成にむけて、会計とりわけ管理会計の視点から企業組織の経営管理・経営分析に精通してもらいます。分析については、Python というプログラミング言語を学習し、それをもって企業の会計データを可視化しその分析（財務分析、統計分析）を行い、企業経営の成功と失敗の裏にある管理会計の優劣を考えます。統計知識については、必要に応じて演習の際に適宜紹介します。

会計とデータサイエンスの両方が分かる人材は、社会的に非常に求められていますが、そういった人材は非常に少ないのが現状です。本演習は、会計とデータサイエンスに強い人材の養成に努めます。

2. ゼミの進め方

《2年次》

教材を使い会計そしてデータサイエンス（Python）の基礎を学習します。

目標：Python（Pandas や Matplotlib, Numpy など）を用いて、会計データの分析や分析結果の可視化を行ない、また簡単なゲームを作れるようにします。

《3年次》

特定の教材を使わず、グループごとにテーマを決定し取り組んでいきます。

目標：Python を用いて EDINET（上場企業等の開示書類掲載システム）にアクセスし、企業の財務情報に関する大規模なデータを収集し分析できるようにします。

例：上場企業の平均年収・年収分布

《4年次》

Flask や Django などを使って簡単な Web アプリケーションの作成を体験します。また、会計データを用いた機械学習（企業業績の予測など）にも取り組んでみたいのです。基本的には、グループごとにテーマを決定しやってもらいます。

卒業（学術）論文は必須ではなく、執筆希望者（大学院進学希望者など）には所要の指導を行ないません。他大学とのゼミ交流やゼミ合宿について学生と相談し決定します。

3. 教材

2年次の参考書として下記を利用する予定です。

- ① 岡本清, 尾畑裕, 広本敏郎, 挽文子 (2008) 『管理会計』中央経済社。
- ② 大重美幸 (2017) 『詳細! Python 3 入門ノート』ソーテック社。

4. 成績評価の方法

ゼミ活動への参加度などで総合的に評価します。

5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法は、各 Oh-o! Meiji グループの概要欄を確認してください。

6. その他・志願者へのメッセージなど

ゼミは毎回参加が前提です。無断欠席をしないようにしてください。